

# ハルカの子宮はマスターボール!!

～ゴリキーと遺伝子通信交姦～ 旅立ちの日 前編



セリフ付き差分 117枚  
絵差分 120枚全 **237**枚





ここは「ゴリキー引越社」のトラックコンテナ内。

少女の名はハルカ。ホウエン地方に引越す道すがら、尿意を催した彼女は我慢できずペットションデビューを果たしていた！

まだ着かないのかなあ…

トイレ我慢できなかったよ…



でも空きペットボトルがあつてよかったかもお



しかもスパッツを脱ぐのが間に合わず、仕方なく、局部周辺の布を破く事になってしまった。

原因は発育バグと言ってもいいハルカの体。

後でママに怒られやうなあ

私のカラダ育ちすぎ！  
いい加減にしてよね！

彼女の発育速度について行けない衣服は、一月も立てば既にパツパツ。



かなりグラマラスなスタイルのハルカだが、  
実年齢はもうすぐ10歳の満10歳。

10才になった子はポケモンマスターを  
目指して旅立つことができる。

けど、明日は私の誕生日！

一ケタ増えてちよっとは年相応かも？

引越しの日に新しい地で  
ポケモントレーナーにデビューって  
なんかステキかも！

ポケモンが大好きなハルカも、当然のように  
旅立つことを決意していた！



でもママは私が旅立つ  
ことがちよつと不安みたい

私のカラダがどうとかって…  
変な人に狙われないかって言ってたっけ？

確かに他の子よりちよつと発育がいいかもだけど、  
それって私がもう大人ってことだよね！

もう子供じゃないんだからママったら考えすぎ！



…と、このときは呑気していたハルカだったが。  
当時まだ才の何も知らぬ少女、ポケモンの怖さをまだ知らない。

正確にはポケモンの怖さというより、発育のおかしいハルカの体が  
ポケモンにどういう効果を与えるかだが…。



ある意味で、ポケモンのブリーダーとなる運命を  
背負って生まれたハルカ、その洗礼を受けることとなる。

しかも、トレーナーデビューの前日に…。





Ластаста...





あれ？

これってモンスターボール？

もしかして引越し屋さんの  
ポケモンかも？





!?!?

リッキー!!

え〜!?  
出てきちゃった!?

たまたま積荷に紛れ込んでしまったのだろう。  
それはゴークリー引越社のポケモン。

「あまいかおり」  
一方で呑気しているハルカ。自分のフェロモンが、無自覚のうちに  
ゴークリーの股間のポケモンをふるいたてている事も知らず。

うわあ〜すっごい筋肉〜！  
流石かくとうタイプ！

こんな近くでポケモン見たの初めてかも〜！









え...!?

な...

なに!?

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!

は...!





なんかヤバイかもーっ!!

なに...あのおちんちん...  
パパのと全然違う...

こ...怖いよ...!!

ハルカの体はメスとしてステータスが高すぎた。  
彼女のフェロモンは、人間とポケモンの種族の壁すら容易く超える。

ポケモンからすれば、ハルカは繁殖期のメス。  
オスに求愛するメスに見えてしまう。

ちょっと…

動けないよ…  
ゴリキ…っ！

人懐っこい子なのかな…

じゃれついてるだけなのかも…？

流石かくとうタイプ…  
力…つよ…  
全く動けない…

ハルカのフェロモンに狂わされたポケモンは、  
まるでサカリのついた繁殖期の獣。

年相応の性知識しかないこの少女は、自分がポケモンに対して  
極度の犯され体質であることなど知る由もない。

強制的にI字開脚されるハルカの下半身。  
まだ無知な彼女でも恥ずかしい所が丸見えなことに羞恥心ぐらいは覚える。

あまりに対照的な性器。  
全体的に発育がおかしいハルカだが、  
アソコのだけは年相応。

はずかしー！

まだ産毛すら生える予定のない未熟なこともまんこは、  
脚をI字に開かれてもワレメはピタリと閉じたまま。

一方で、ゴリキーは大きな体に見合ってペニスも大きい。  
少なくともハルカの腕よりはずつと太い。





リッキ〜〜ツッ!

なんか…怖いよ…?  
ゴーリキー…さん…

この時のハルカは、まだ初潮すら迎えていない真正正銘の処女。  
しかし、彼女の体は処女を棄てる時が来たことを察した！

オスのフェロモンを受信した彼女の体は、生まれて初めて繁殖を意識する。


お腹の奥が熱い……

それにキュンキュンって……  
まるでそこに心臓があるみたい……!?

月掛の未熟な子宮が、  
まるでモンスタースターボールのように  
何かをゲットしたがる。

なにか…変かも…♥  
体が火照る…♥





ピツタリと閉じたワレメから、まるで発芽するように  
充血したクリトリスが勃起し露出する。


メスチンポとオスチンポ、心臓の鼓動に合わせて脈打つそれは  
あまりに正反対の凸凹コンビ。

ハルカの性器は、色素沈着すらない綺麗なサーモンピンク。

陰核を少しでも大きく見せようと勃起する姿は、  
大人ぶって背伸びする子供そもそも。

一方でゴリキリーの性器は、  
先端に向かってドス黒く変色している肉竿、  
高く張ったエラ、こぶし大の亀頭、浮き出た血管。

成熟した性器とはこういうものだ。




雌雄は共鳴するように「ヒクヒク」と痙攣する。  
オスの性器に痙攣に合わせるように、  
メスの性器も身を震わせる。

一部の鳥型ポケモンの求愛行動は、  
ダンスによって異性を魅了する。  
脈打つ性器はまさにそれだ。

見るからに経験豊富そうな、太く立派な雄しべに魅了され。  
発芽したばかりにも関わらず、ハルカの雌しべは受粉を期待する。





目と目が合ったらポケモンバトル!

闘いの幕が切って落とされた!!



ビクツと本能の片鱗を見せる無垢な体。  
まだ男の味を知らないどころか、まだ生殖能力すらない未熟な性器に、  
メスを孕ませることに特化したような百戦錬磨を思わせる性器があてがわれる。

え…まさか…♥  
ソレ…入れちゃうの…!?

だ…ダメだよ!  
おしっこするところだよ!



そ…そんなの入らないよ!

ヤダ…! 怖い!!

セックスという概念すら知らないハルカは恐怖する。  
自分が何をされてるのか、わからないから怖い。  
もしかしたら死んでしまうかもと、  
知らないことに対する恐怖を覚える。

…が、それは間違いだった。





未知の恐怖でいっぱいだったハルカが  
次に感じたのは、なんと圧倒的な快樂だった…！

恐怖から一転、自分の意志とは真逆、  
好意的な快感が全身に走り、思考がグチャグチャになる。



無意識に出た「イク」という言葉。

まるで遺伝子に刻まれていた記憶のように、ハルカは知らない言葉を紡いだ。それはまさに本能の目覚め。

おしっこ…  
漏らしちゃった…  
さっき…したのに…

勝手に出ちゃう…っ

初めてのナカイキ、初めての潮吹き、ありとあらゆる初体験に、少女は混乱するしかなかった。





狭い膣内に合わない規格外のペニスを、  
かくとうタイプのパokemonの力で無理やりねじ込まれる。

常人なら、膣が裂けてもおかしくないが、  
そこは繁殖能力に長けたハルカの生殖器。  
むしろ、悦んで迎え入れてしまう。

お腹が…持ち上げられて…苦しい…♥

才能あふれる性器とはいえ、そのサイズは年相応。

あっけなく奥まで届いたペニスに子宮を持ち上げられ、  
その姿を体表に浮かばせる。





ハルカの子宮は、ペニスと出会う。

それは、運命の出会いだった。

恋に恋する乙女な子宮は、  
雄々しいソレに一目惚れ。

「キミにきめた!」と  
言わんばかりにときめいた!

恋にときめく「胸キyun」とは違う、子宮でのときめき。  
「胎キyun」とでも言うべきか。

一方、気持ちいいことだとわかったハルカは一安心。

最初は痛いことが多いが、  
初めてでいきなりナカイキをキめるのは  
ハルカの才能だろう。

お腹がキyunキyun疼く…♡

なんだろう…  
知らないことだけど…  
イヤじゃない…♡

なんかさつきよりも  
ゴリキーの事が…好きになってる？

「胎キyun」の正体が、相手を好きになる、乙女な恋心ではなく、  
孕むことを覚悟したメスの生殖本能であることなど知らず。

思春期前の疑うことを知らない無垢な子供心。  
対照的な、オスに種付けを請うメスの生殖本能。

このままこの行為を続ければ、取り返しのつかない  
事になるとも知らず、ハル力は楽観的だ。

痛いことじゃなくてよかった…♡  
気持ちいいってことは  
マッサージみたいなのなのかな？















相手はゴリキー、最低でもレベルは28。  
対して、ハルカはレベルはわずか4。

3倍以上のレベル差のポケモンバトルで勝てるはずがない。

ハルカの性器は悲鳴をあげるように、  
また白旗を振るように、立て続けに潮を吹く。

ハルカには自覚はなくとも、突かれることに、  
腹の奥に眠るマスターボールが目覚めそうになる。

ゴリキリーのオスを教え込むような腰使いに

ただでさえ発育速度の早いハルカは、  
このポケモンバトルの中で成長していた！



お腹が…疼く…!?!  
ううん…悦んでる…!?!

気持ちいいね…っ♡  
ゴリキキー♡





ゴリキキーはハルカを孕ませるために腰を振る。  
オスの穢れた欲望を、無垢な少女に打ち付ける。

一方、なにも知らない少女は、子宮を蹂躞される新感覚を  
気楽に楽しんでいた。この後のことも知らず……。

いっしょ!

いっしょ!

はげしいよ!

いっしょ!

ポケモンとじゃれつくのって  
こんなに気持ちいいんだ♡  
私も早く自分のポケモンが欲しいかもっ♡





奥ぐりぐり気持ちいい♡

うんうん♡

うんうん♡

うんうん♡

うんうん♡

うんうん♡







ちんちん離れちやダよお...っ♡





奥うっ♡  
もっと思いつきり突いてっ♡

ハルカはこの時気づかなかった。  
膣内でペニスが脈打つ射精の前兆に。

ゴリキリーの巨大なキンタマから  
無数の精子たちが込み上がり、発射体勢をとる。

リッキ〜〜…!!

?

次来る突きは、これまでで最大威力になるだろう。

ほぐされたハルカの子宮は、無防備に口を開いていた。







!?!?

なに...!?  
今の感覚...っ!?

ちゅっ  
ちゅっ

無防備だった子宮を最大の力で突かれる。

そのとき体内から聞こえた音は「グポン」という何かが何かを貫いた音。

無知なハルカでも危機感と違和感を覚えた。

本来触れるはずのない粘膜同士の接触、そこから発生する電撃のように快樂。

それは、さっきまでの快樂とはレベルが違ったからだ。



…が、畳みかけるように次の出来事が起こる…!!

なにか……っ!?

なにかヤバイかも……っ!?

おちんちん脈打って…

なにかくる……!?





腹の中でペニスが脈打った。

その瞬間、ハルカの中で世界がひっくり返った。



これまでの価値観をひっくり返す快楽が全身に走る！  
快楽と多幸福感が彼女の理性を犯す！！

そして、注ぎ込まれた何かで、腹が重くなったと思ったら  
妊婦のように膨らんでいたのだから…！！

なにこれ!?

お腹…重くて苦しくて暑いのに…

気持ちよくて…  
すっごい幸せかも…っ♡

おっ  
おっ  
おっ

おっ  
おっ  
おっ

それもそうだ。お腹に注ぎ込まれた物はゴリーキーの精液。  
オスの遺伝子がタップリと詰まった赤ちゃんの素。

それをまだ未成熟で敏感な子宮に詰め込まれたのだから仕方ない。

お互いの技が必中になる  
「特性：ノーガード」の無数の精子たちが我が物顔で  
少女の子宮を泳ぎ回る。もしハルカの卵子が子宮にいたら  
間違いなく受精していただろう。

幸い、彼女はまだ初潮前の生娘。  
だが、問題なのはハルカの発育速度。

初めて子宮で味わうオスの味、  
繁殖相手のメスとして認められた幸せ。

育ち盛りで伸び盛りのハルカの体は、  
オスの期待に、今にも応えてしまいそうだ。

精液で膨らんだお腹を見て、妊娠したのかとハルカは困惑。

そこで初めて、自分が取り返しのつかないことをしていたのだと理解した。

ハルカ

ウ…ウン…

これ妊娠しちゃったの…!?  
ママになっちゃった…!?

おは





またキタ...ッ!?

そんな後悔をさせる暇もなく、ペニスは脈動を再開！

むしろさっきのはちよつと漏れただけ、いわゆる先走り汁程度だった!!

もう...お腹...

ぐるじゅじゅ...

常人なら胎が破裂してもおかしくない状態。  
しかし、繁殖用のメスとして高すぎる才能を持って生まれた  
ハルカなら耐えてしまう!!

耐えてしまうからこそ、非現実的な快樂がハルカを襲う!!







まるでどんな巨大なポケモンでも  
捕えてしまうモンスターボールのように、  
注がれる精液を「ゴクゴク」と音を立てながら飲み込んでいく。

ひ…ひぎっ♡

ハルカの子宮は正にマスターボールだった！







ゴリキーの本気の射精に、さらに膨らむ胎。  
その姿に、元は美しく引き締まったウエストの面影はない。

マスターボール  
ハルカの子宮は難なく精液を飲み込むが、  
快楽を受信し、脳で処理するハルカ自身は  
あくまで歳相応の無垢な少女。

頭を真っ白にする正体不明の快楽に恐怖を感じる。

助けて…



誰か助けてええええ  
ママママ  
あーっ  
あーっ  
あーっ  
あーっ

お  
し  
ま  
い  
な  
い  
わ



エム...

自分ではどうしようもないと悟ったハルカは、  
歳相応のリアクションをする。

ママごめんなさい…

お腹こんなになっちゃったよお〜っ！

赤ちゃんデキちゃったよおお〜！

おはははは

助けを求めるが、届くはずがない。  
完全な密閉空間なうえ、  
エンジン音にハルカの声はかき消される。

ママ……ごめんなさい……  
私……ポケモンと赤ちゃん  
作っちゃったよお……

これ……子作りだったんだ……  
私がママになっちゃう……！  
まだ……甘なのに……ヤダよ……

なのに……  
嫌なはずなのに……

お……お……お……





無知なハルカは、膨らんだお腹を見て妊婦になってしまったと思い込んだ。  
性知識が無いのだから仕方ない。

そもそも人間とポケモンでは染色体の都合上、  
受精はしても着床は起こらない。

つまり、妊娠はしない。…はずである。

おっ！！



一方、子種をこれでもかと詰め込まれ、  
ただ重く苦しいだけのはずの腹に、ハルカは違和感を覚えた。

否定できない奇妙な愛着を。



なんで…イヤなはずなのに…  
お腹が…熱くて…心もボカボカする…♥

みちっ♡

それは、ハルカの母性の目覚めの前兆。

初めてのセックス、初めての中出し、初めての精液ボテ。  
妊娠したとしか思えない腹。

あらゆる経験値を獲得したハルカの体はレベルアップ。

なに…!?

おっぱいが…熱い!?

それにさっきより  
大きくなってるような…

その変化は、乳房に現れた!

これって…  
母乳!?

え!? ウソ…!?

わぁー

わぁー

わぁー



私の体ママになっちゃうよお!

ウン…  
ウンウンオ!?

ミッワッ



妊娠する前に(そもそも人間はポケモンを孕まない)、  
一足先に子育てミルクを分泌。

これもすべて、高すぎるメスとしてのステータスのせいか。

私の体おかしいよ…

発育の良すぎるハルカの体は、セックスをするだけで  
母乳を分泌するほど、繁殖行為に興味津々。

結果、まだ色素沈着のない乳臭い乳から、  
母乳が出るという矛盾が生じる。



なんで...こんなことに...



うわぁぁぁ  
うわぁぁぁ  
うわぁぁぁ

おれは  
おれは  
おれは







ダメ…  
頭の中…  
真っ白…

ハハハハハ  
ハハハハハ  
ハハハハハ

おれは  
おれは  
おれは







ポケモンなんて…!!  
ポケモンなんて興味  
持たなければよかったんだ…



ポケモンに興味を持ったことを、ハルカは後悔した。

しかし、本来ポケモンは人間に性的に襲いかかったりはしない。  
人間に対して性的な劣情を催すことはあり得ない。



ところが、ハルカのメスとして高すぎる

生まれつきの能力

個体値から発せられるフェロモンは例外だった。

ポケモンを狂わせ、自分を襲わせる。原因はハルカ自身。



ママが正しかったんだ...  
私が間違ってたんだ...!



おちんちんが痙攣してる…!

これって…  
さっきのアレが来る…!?

射精の前兆を感じ取るハルカ。

このポケモンバトルの中で成長している彼女は、  
すでにゴリキリーの射精のタイミングを体で覚えていた!

うわっ!!

来ちゃダメ!!  
もう...

く...!!


ん!!

うわっ!!









ゲル状の精液。リットル単位の射精。  
体が胎の奥から重くなっていくのを  
ハルカは鮮明に感じる。

子宮の天井を打ち付ける奔流、  
その勢いに体が浮き上がる錯覚を起こす。

お腹で  
飲みたいわ!!





Three stylized, pink-outlined characters with black markings, arranged vertically on the left side of the image.

Large, white, stylized Japanese text, possibly reading "おっぱい" (nipples), positioned in the lower center of the image.

Small, stylized white text or signatures located near the bottom center of the image.


ハルカが理性で拒んでも  
繁殖行為に興味津々なハルカの子宮は、  
意気揚々と精液を飲み下す。

ハルカは、早熟でオマセな体に振り回されていた。

ハルカは自分自身に振り回され、弄ばれていた。

まるで、トレーナーの腕前に見合っていないレベルのポケモンが  
言うこと聞いてくれないように。





気持ち良すぎて…  
わけわかない…

もう…頭の中…真っ白らよ…♡

自分の命令を無視して、体が言うことを聞かない。  
まるでハルカ自身がポケモンになったような気分だ。

トレーナーとして旅立つ前に、ハルカはその厳しさを知った。



もはや人らしい言葉は発せない、  
今や理性の崩壊した脳に変わって、ハルカを  
コントロールしているのは子宮そのもの。

子宮が発する反射だけがハルカの意思、  
きもちいい、もっと欲しい、産みたい。もはや獣ボケモン同然。









もはやここは愛の巣。  
人間の尊厳を棄てたハルカはポケモンそのもの。

トラックコンテナが揺れる。  
それは、トラック自体の揺れなのか、  
それとも野性的な交尾によるものなのか。





てりゅ…!?!?  
なにかてりゅ?!?

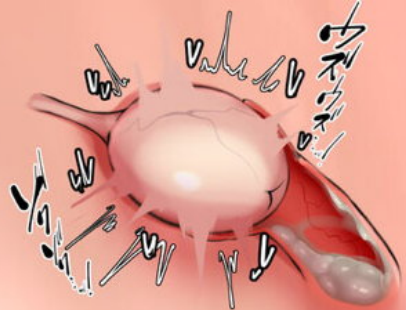
ふん!  
ふん!

そんな中、ハルカはただの少女から  
進化を果たそうとしていた。

子宮の脇に突る「生命の果実」が疼く。

知るか

知るか



ンモツ!

ふんふん!

グハッ!!

ぐわわわわ

グハッ!!

モンボ…投げりゅ!?

ゲット…なきや!

セックスの最中。いな、交尾の最中にそれは起こった!  
性交の刺激で、初めての排卵を誘発しそうになっていた。

メスの動物は排卵周期に関係なく、  
交尾の刺激で排卵する種も少なくない。  
今のハルカにはお逃え向きな排卵だ。

ゴリキキーの射精が、ハルカの進化を後押しした！





ハルカが最初に覚えたワザ、  
それは「タマゴうみ」だった!!

タンパク質の海に飛び込む無防備な モンスターボール 卵子。  
彼女の運命は火を見るよりも明らか。

たった一つのハルカの卵子に、  
数千億…、もしかしたら数兆の精子が群がる。

ハルカのもののおおきいおまごい!!

おまごい!!

おまごい!!

おまごい!!









それはゲットの瞬間だった。

染色体のまるで違う精子と卵子。  
まるで美女と野獣だが運命の出会い。

その隔たりなど  
お構いなしに一つになる。





問題は着床。スツカリ孕んだつもりのはるかだが、  
染色体の違う受精卵は胎盤へ着床しない。

わずかに母性で母性に目覚め、  
メスとして悟った気であるはるかには悪いが、  
無理なものは無理である。

なんだかとっても…  
イイ感じいい…♡

おっぱい  
お尻





リック〜…ッ!

ん?

ゴリキーどうしたの?

ゴリキーッ

ゴリキーッ

ええ!  
!?

ツ  
ツ  
ツ

リツキーツ!!

ボカッ!



な...  
なにになになに!?

あははは

あははは





え…!?  
これっでもしかして…





リッキーツ!!

進化しちやった!?

ゴリッキーが光に包まれた次の瞬間、彼は別の姿になっていた。  
目立つ変化は腕が4本。一回り大きくなった姿は正しく「カイリッキー」

本来なら通信交換をしなければ進化しないはずなのだが、  
遺伝子情報の通信交換をしたからなのか…。

リキツ!

ゴリキー… 私のために…  
進化してくれたんだ…  
なら…私もがんばらないとっ!

あれ?  
いま…彼の声が  
わかった…?

ハルカはカイリキーの言葉が理解できた気がした。  
ただポケモンの意思を汲み取るのはまた違う。

もっと鮮明に、ハッキリとした意思疎通。  
まるで、自身がポケモンになったような感覚だった。

うんっ 元気な姿で  
産んであげないとね♥

リキッ!!  
リキッ!!

やっぱりポケモンの  
言葉がわかる…!!

私 トレーナーの  
才能あるのかも!

トレーナーの才能とは全く関係ない。

ポケモンの言葉がわかる理由。

その真実は、ハルカが人ではなく  
ポケモンとして目覚めつつあるという前兆だった。

それにもっと  
子作りしたいね♡

リッキーツ!!

ハルカは胎内では、たしかに胎動のような  
命の鼓動が始まっていた。

人類史上、あり得なかったがこの少女の体で  
起ころうとしているのかもしれない。



저런저런!  
저런저런!  
저런저런!



ハルカはまだ知らなかった…  
ここからさらに人の尊厳を棄てることになるなんて。

この番のポケモンバトルは、まだまだ続く…。

後半へ続く…

▶ TO BE CONTINUED











































































































































































































































































